

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施市町村名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
062057.新庄市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	約3割弱の教員が月45時間以上の時間外勤務を行っている。	個々の教員が改善意識を持ち業務負担軽減に取り組むなど、時間外削減に努めているが、約3割の教員が月45時間以上の時間外勤務を行っている。	・市全体で地域学校協働活動推進員を4名以上配置し、学校への定期的な訪問など、年間延べ200日以上活動をを目指す。 ・推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、学校や地域のニーズを把握しながら、教員の業務負担軽減に繋がるようコーディネートを実施する。	学校・家庭・地域の連携強化を図ることにより、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	17	%	0		
062057.新庄市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	「学校を核とした地域づくり」「地域に開かれた教育課程の実現」に向け、多様な方が学校や児童・生徒に関わる仕組みができており、関わってくださる方々の主体性が生まれている。そんな中、「具体的な活動は何をしたらいいのか？」「他の学区ではどんなことをしているのか？」といった疑問を持つ方も多いため、今後、より各学区で特色ある社会に開かれた教育課程を推進していくためには、より具体的な活動イメージを持つてもらう必要がある。	新庄市では令和6年度では6名の地域学校協働活動推進員を配置し、個々の活動へのコーディネートを実施したり、「地域学校協働活動」についての広報物を作成し、活動イメージを持ってもらえるよう活動してきた。	学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働に関わってくれているボランティアを対象とした研修会・情報交換会を開催し、「地域学校協働活動」についての具体的なイメージの共通化を図り、各校の特色ある地域学校協働活動の推進に繋げる。	学校運営協議会委員や地域学校協働活動に関わる方々が「学校を核とした地域づくり」について主体性を持つようになる。	研修会実施時にアンケートを実施し、「地域学校協働活動に関わってほしい」と答えた人の割合	—	%	80		